

日本気象学会昭和57年秋季大会の告示

予稿原稿の締切が例年より早くなっています，御注意下さい。

1. 期 日 10月13日(水)～15日(金) 二郎)
2. 会 場 札幌市教育文化会館 3) 様式：本号挿入の申込用紙に記入，予稿原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること。詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください。
札幌市中央区北一条西13丁目
Tel. 011-271-5821
3. 研究発表
 - 1) 講演申込・予稿原稿の締切：8月5日(木)必着期限厳守のこと
 - 2) 申込先：東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁 電子計算室内 講演企画委員会(山岸米
 - 4) 講演時間：討論を含め12分程度
講演時間は事情により短縮されることがあります。

シンポジウム
気象と海水

第7回風工学(構造物の耐風性)シンポジウム開催と発表論文の募集について

<主旨> 構造物の耐風性に関し，気象，土木，建築，電気の各分野における研究成果と技術の交流を目的として，標記シンポジウムを下記により開催することになりました。発表論文をふるってご応募くださいますようご案内いたします。

<共催> 日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科会，土木学会，日本建築学会，日本気象学会，日本鋼構造協会，日本風工学研究会，電気学会(幹事学協会)

1. 開催期日 昭和57年12月9日(木)，10日(金)

2. 会 場 東京で開催

3. 発表論文の募集

(1) 課題 課題はつぎによるものとし，内容は独創性のあるものでなければならない。

- (a) 自然風の性質
- (b) 環境と自然風
- (c) 風圧および空気力
- (d) 耐風設計法(設計風速および風荷重を含む)
- (e) 風による構造物の応答
- (f) 計測方法(風洞実験を含む)
- (g) 強風災害

(2) 応募方法

(a) 論文提出希望者は，昭和58年6月30日までに，①所属学協会，②氏名(連名の場合は発表者に○印を付ける)，③勤務先と職名，④連絡先，⑤課題名，を記入のうえ，A4版用紙に邦文2000字程度により，発表の目的，論旨，結論が明確に分るような内容梗概を記し，幹事学協会に提出する。

なお，主要な図表の添付が望ましい。また論旨，結論には独創性のある点に言及すること。

(b) シンポジウム運営委員会は，発表論文の採否を昭和57年7月15日までに決定し，応募者に通知する。

(c) 発表論文の執筆

① 論文採否通知の際，採用された論文者には執筆要領および所定の原稿用紙を送付する。ページ数は8ページ以内(英文概要1ページを含む)の偶数ページとする。

② 論文原稿は昭和57年9月16日(木)までに今回の幹事学協会である電気学会に提出する。

③ 提出先，問い合わせ

電気学会「風工学第7回シンポジウム係」

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1

(新有楽町ビル) 電話 03-201-0983